

埼玉親善大使・フィンドレー大学平成27年度派遣奨学生

月例報告書・3月 徳永美友

3月が終わり、4月を迎えたにもかかわらず、フィンドレーは未だに雪が度々降ります。ここでの生活も残り2週間を切っており、今まで以上に時の流れを早く感じております。残り短い留学生活も、人と人との関わりを大切に、埼玉県の親善大使として最後まで悔いのないような生活を送りたいです。3月の報告書では、「春休み」、「薬学部の学生へのボランティア」、「インディアンナイト」についてお伝えしたいと思います。

<春休み>

2月の後半から3月にかけて、春休みが9日間ありました。その春休みを利用してカリフォルニア州のロサンゼルス（写真）とサンタモニカに行ってきました。ロサンゼルスのハリウッドに美術館の展望台から見た広大な自然や土地は、改めて今自分がアメリカにいることを私に実感させました。3月上旬のカリフォルニアは、昼と夜の温度差が激しく、昼間は半袖1枚で過ごせますが、日が暮れるにつれて上着が必要になるほど冷え込みました。



今回の旅行では、中国からの交換留学生である友人と一緒にカリフォルニアを満喫しました。私は今まで同じ文化、同じ言語を持つ友人としか旅行をしたことがなかったので、少し不安もありましたが、お互いの文化について話しをしたり、他愛もないことで笑ったりと素敵な時間を過ごしました。たくさん楽しい思い出を一緒に作ってくれた友人には改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

<薬学部の学生への日本語ボランティア>

先月から、5月に宮崎県に研修に行く薬学部の学生5人に、基本的な日本語やマナーを教えるボランティアをしています。教えるといっても、決して堅苦しい雰囲気ではなく和気あいあいと日本について学んでいます。今月は、日本食パーティーも行い、みんなと一緒におでんとお好み焼きを食べながら、食事の際のマナーについて話しました。最近では、教えなければならない基本的事項は教え終わったので、毎週一緒にスタジオジブリの映画を見ている。日本人は映画を見るとなると、映画が終わるまでは何も話さないことが多いですが、

アメリカ人や他の国の友人は映画を見ながらコメントをよくはさみ、笑う回数も日本人より多い気がします。そんなみんなと過ごす時間が大好きで、こんな時間がずっと続けばいいのになあと考えずにはいられません。これからも引き続き、彼らの日本での経験がより一層充実したものになるように、サポートしていきたいと思っています。

<インディアンナイト>

インドからの留学生によるインディアンナイトというイベントがありました(写真右)。インディアンナイトでは、インド料理や、インドの歌、踊り、伝統的なドレスのファッションショーなどを楽しみました。特に私の印象に残っているのがダンスです。インドの伝統的なダンスは様々な種類があり、指先から足のつま先まで使う細かく優美な動きは非常に美しく魅了されました。

何よりも驚いたのが、普通の学生があのようなきれいな踊りを何種類も踊れることです。日本にも伝統的な舞踊は多くありますが、学校で習うのはよさこいなど1つや2つで、触れたことのない踊りも多く、自国の様々な種類の踊りを美しく完璧に踊れることはとても素晴らしいことだと感じました。

